

## 事業報告書

1 支援団体名	NPO法人 タウンコンパス
2 事業名称	ダム水源地荒廃竹林手入れ
3 実施日時	平成 20 年 12 月 6-7 日 (伐採予備調査) 平成 21 年 1 月 17-18 日 (伐採本事業) 平成 21 年 2 月 18 日 (技術フォーラム)
4 実施場所	伐採:福岡市東区長谷ダム上流の記念公園、技術フォーラム:福岡市内
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>■平成 20 年 12/6-7(福岡市東区長谷ダム)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林伐採、搬出等の作業手順、役割確認のための予備調査</li> <li>・チップ生産 2.0 立方メートル、竹搬出 2t</li> </ul> <p>■平成 21 年 1/17-18(福岡市東区長谷ダム)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土木技術者 CPD プログラムとして、竹林伐採、搬出、チップ化を行った。</li> <li>・伐採面積 800 平方メートル、チップ生産 5.0 立方メートル、竹搬出 4t</li> </ul> <p>■平成 21 年 2/18(福岡市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土木技術者 CPD プログラムとして、森林保全のテーマで技術研修会を開催</li> </ul>
	<p>(事業実施効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水源涵養域で放置された雑木林の竹林伐採で、太陽光が差込む様になった。</li> <li>・土木技術者参加の水源涵養林・竹林整備の仕組み、手順が確立され、他の地域でも応用できることが分かった。</li> <li>・竹チップ、竹パウダーの農業での活用が広まってきたため、農業関係との協働の目処がついた。長谷ダム近隣の農家の方が活動に参加され、チップを大量に搬出された</li> </ul>
6 参加内訳	総人数 <span style="float: right;">74名</span>
	(1)主催者参加 <span style="float: right;">21名</span>
	(2)日本人参加((1)を除く) <span style="float: right;">53名</span>
	(3)外国人参加((1)を除く) <span style="float: right;">名</span>
7 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長谷ダムでの活動を継続し、雑木林の再生を目指す。</li> <li>・水源涵養林としての機能を持つ里山の放置竹林を整備する範囲を拡大するために、地元中心で活動できるチームを発掘、支援する。</li> <li>・竹林整備を軸とする地域活性化を支援する。</li> </ul>

長谷ダム水源涵養林竹林伐採状況(福岡市東区)

伐採作業中



チップ製造中



チップ積込中



専門家の講話



土木技術者研修会状況(福岡市)

専門家の講演



研修参加者

